



チェンジ・ザ・文京区政 620億円の基金をつかって 学校施設改善、保育所・特養の待機なくそう



総合福祉センター 来年4月オープン

旧五中跡地に建設中の文京総合福祉センターには、(社福)武蔵野会が管理・運営する障害者支援施設「リアン(絆)文京」を開設し、施設入所支援40名、短期入所13名(内子ども3名)、生活介護40名、放課後等デイサービス、軽度障害者入浴、喫茶コーナー等の事業を実施します。

3階は子育て広場、4階は「福祉センター江戸川橋」が浴室や学習室、トレーニングルームを開設する他、視聴覚室や料理教室、地域活動室等の地域福祉振興施設になります。日本共産党は新たに指定管理者制度を導入する条例には反対しました。

高すぎる国保料引き下げを

苦情・問い合わせ殺到!

値上げとなった国保料の納付書が届いた区では役所に問い合わせや苦情が殺到(板橋6920件、大田4365件、足立3605件)。7月には国保だけでなく、後期高齢者医療、介護保険料の納付書も発送され、苦情がさらに殺到すると予想されます。

党区議団は7月11日、納付書送付を前に、①高すぎる国保料は値下げすること。②区民からの問い合わせ・苦情には丁寧な対応と記録を区長に求めました。文京区は7月中旬から送付。

お問合せは、国保年金課収納係
TEL (5803) 1194まで

区立小中学校 全教室の冷房化 トイレ改修一気に!

区長・教育長に申し入れ

日本共産党文京区議団は、小中学校の調査をもとに、学校施設改修、柳町小の増教室計画、図書館司書の配置などについて、7月11日、区長と教育長に申し入れを行いました。小竹都議、関川前区議も同席しました。

区は今後3年間で、築30年以上の学校の改修を行います(「快適化計画」=予算50億円)。党区議団が「学校施設の格差なくせ」と要望してきたことがやっと区を動かしたといえますが、問題はその内容です。



私たちは5月、小中学校26校の調査をしました。話を伺い現場を確認すると、トイレの洋式化と臭いの解決、特別教室へのクーラー設置を一気に、教室や廊下を明るく、雨漏りの対処、小規模校での教室不足の解消……など要望は尽きません。

今回の申し入れでは、区に、トイレ洋式化、中学校特別教室のクーラー設置も今夏実施を、学校と協議しスピード感をもってすすめることなど、格差解消を強く要望しました。

柳町小の増築区案に異議!

児童数の急増により、柳町小学校は教室増設が必要です。5回の「検討委員会」を重ねた後、教育委員会事務局はいきなり「やなぎの森」を壊す改修案を提示し「報告書案」をまとめました。学校・PTA・地域から「森を残してほしい」「区案の見直しを」の声があがっています。「学校統廃合計画」の時のようにごり押しでなく、関係者の声を聞くべきです。

全校に司書配置急げ

区立小中学校には、学校図書館司書はならず、区立図書館の指定管理会社から司書が月2回、1回4時間、15校に派遣されているのが実態です。PTAからも「全学校に」と要望が出されていますが、区は2015年度以降の計画を示していません。

私たち区議団は、荒川区のようにすべての学校に司書配置を要求しています。



教育長に申し入れる日本共産党文京区議団と関川前区議、小竹都議

千石育成室 指定管理のもと 問題が次々...

2013年に千石に建設された児童施設は、根津・目白台第2児童館・育成室の民営化に続き、2つに増設された育成室、児童館、子育てひろばが全部民間の指定管理となりました。日本共産党は、区直営で行うべきと条例に反対した経緯があります。

民間に移行後1年間で職員が常勤・非常勤あわせて11人も退職し、児童が15人退室するなど

極めて不安定な運営が続いています。父母の会は区と交渉し、十分な改善が図られない場合は「直営に戻すこと」を求め、私たち区議団も緊急申し入れをしました。

区は、今後増設する育成室は全て民営化し、放課後全児童向け事業と児童館についても見直す方針であり、これから区政の中で大きな議論を呼ぶ問題です。

公有地活用で 保育園・特養ホームを 大塚車庫跡地の区取得を求める

千石3丁目の外務省官舎跡地は、区が取得し子育て施設を建設する予定です。

都営バス大塚支所(車庫、約6400㎡)は、「交通局経営計画2013」で、「2017年度活用開始予定」に位置付けられています。

共産党区議団は、未利用の国・公有地を活用して特養ホームや認可保育園を増設するよう一貫して求めてきました。区が増設の「計画」を早急に定め、大塚車庫跡地を活用したい意志を強く前面に出して、都へ申し出るよう求めています。



都バス大塚車庫

千石・本郷・水道・本駒込南・大塚北など地域の「交流館」の廃止と、体操等の交流館事業の継続が問題になっています。煙山区政で風呂があった寿会館を廃止し、交流館

交流館事業なくすな!

今後は、成澤区政のもと、2012年「行革計画」で新大型拠点施設に「移転」するとして千石交流館を「廃止」したことで、体操や折り紙などの

交流館事業も条例上の根拠がなくなってしまう。区民への背信ではないでしょうか。

6月定例区議会では、共産党の追及に、新施設での“ふれあいサロン”事業として継承すると約束。

しかしボランティアの可能性があり、他党派からも継続を求める発言が相次ぎました。住民への説明責任と予算措置が問われます。

税金の使い方を問う!

シビック改修は 区民に計画説明を

シビックセンターは、高層棟が築20年、ホール棟が15年経ち、区は今後2年で十億円をかけ、外装などの調査・改修を行います。シビックは建設に五六億円、その後の維持管理に二三四億円かかっています。改修は不可欠ですが、税金を使うのですから今後の計画説明は欠かせません。学校は雨漏りがあっても長

年放置され、外壁の補修は「ヒビが1cm以上なら補修する」とのこと。シビックだけは「気前よく」とはいきません。設計会社の予備調査では、改修経費は二四八億円と試算されていますが、区は全体像を示そうとしません。区民に改修と財政計画を知らせるべきです。

6月定例議会に提出された請願に対する各党派の態度

請願の主旨	結果	改革	自民	共産	市民	公明	みんな	至誠
集団的自衛権容認に反対	△	△	×	○	○	△	—	—
特養ホームの増設を要望	×	×	×	○	○	×	×	—
認可保育園の増設を要望	×	×	×	○	○	×	—	×

○採択 ×不採択 △保留 —委員なし